

## 【冬のイベント】

十日町（とおかまち）の長くて過酷な冬には、大雪が数か月もの間降り続くため、人々を活気づけるために毎年多くのイベントが開催されている。

### 十日町雪まつり（2月中旬）

十日町雪まつりは、地元住民が雪の美しさに感謝して冬を楽しめるような活動を立ち上げたかどうかという昭和天皇（1901～1989）の発案に応じる形で、1950年に始まった。住民たちによって巨大な雪像が彫られ、着物ショーやライブミュージック、花火大会など、冬の暮らしを楽しむためのさまざまなイベントが開催される。

### 越後妻有（えちごつまり）雪花火（3月初旬）

「越後妻有 雪花火／Gift for Frozen Village」は、目で楽しむ驚きのショーで、十日町市の冬のアートイベントのハイライトである。「光の種」と呼ばれる色付きのLEDが多数設置された雪原の上に花火が打ち上げられ、観客は、キラキラと輝く雪原が地域最大の花火で照らされる様子を楽しみながら、屋台で地元のグルメも味わうことができる。

### 雪原カーニバルなかさと（3月の第2週末）

雪原カーニバルなかさととは、来場者が雪原一面に並べた2万本のろうそくに火を灯して幕を開ける。スノーサッカー、スノーチュービング、花火大会などのイベントも行われ、クライマックスには、スキーヤーたちが松明を手に広大な光の雪原を並んで滑降する。

### 越後まつだい冬の陣（3月中旬）

冬の陣、または「ウインターキャンペーン」は、雪に打ち勝ち雪を楽しもうという精神で毎年開催される2日間の祭りである。祭りのクライマックスは「雪中鉄人レース」で、500人の参加者が松代（まつだい）城跡を目指し、「冬将軍」の手から松代城を奪い返すために競い合う。3キロのコースにはさまざまな障害物があり、標高200メートルを登りきる。勝者には、地元で栽培された米150キログラムが贈呈され、1年間松代城名誉城主に任命される。